



八久保 弘之さん

今月は、今年度初級郷育ゼナリスト認定を受けた八久保弘之さんです。

糟屋郡で育ち、長年仕事で東京、横浜に住み、10数年前に北九州勤務となって、博多にも近い福岡町(当時)に居を移しました。

それまで当地には縁がなく、人・歴史・地理・名所旧跡など、全て白紙状態でした。そこで高齢者大学に参加しましたが、残念ながら2006年春に終了してしまいました。

たまたま広報誌で郷育カレッジがあることを知り、2006年に参加して以来、「ふるさと」などの興味がある選択講座を受講してきました。それらはほとんど受け尽くしたので、2~3年前から必須講座なども受講し始めたところです。

そのおかげで、今回回らずも初級郷育ゼナリストの学位認定を受けることができました。しかし、まだまだ知らないこと、分からないことが多く、もうしばらくはいろいろな分野の講座を受講し続けたいと思っています。

一緒に講座を受けた人から、もっと掘り下げた勉強をしませんかと、誘われたことがあります。また、郷育カレッジの運営に協力したいという気持ちもあります。しかし、今はすることが多くて、まだどちらも実行できていません。

現在関わっているボランティア活動は、高齢者のパソコン教室、身体障がい者へのITサポート・訪問サポート、iPad体験会のアシスタント、身体障がいや発達障がい・学習障がい・難読症の子どもたちの読書や学習を助けるデジタル図書(マルチメディアDAISY)の絵本や数学の教科書の製作などです。

他にも趣味のことなど、やりたいことがいろいろあります。もっと時間があればなあと思いつつながら、残された時間を大切に使う、これからも多くの活動に関わり続けていきたいと思っています。



ボランティアハウス・ふくまの月替わり作品展に、お越しください。

◆2月の展示「油彩画展」

岡さん姉妹
期日 2月1日(金)から
2月28日(木)まで

開館時間 10:00~18:00

休館日 日・水曜日

問い合わせ ボランティアハウス・ふくま
☎42・9071

郷育カレッジ公開講座



参加者募集



カレッジ生はもちろん、市内外問わずカレッジ生ではない人も参加できます！この機会に一度体験してみませんか？

地域で子どもを育てるアンビシャス広場

地域ぐるみで子どもたちを育てている「アンビシャス広場」。子どもの居場所づくりとして活動している様子を紹介します。

◆日時 2月14日(木) 14:00~16:00

◆場所 市内アンビシャス広場

◆講師 青少年アンビシャス運動地域推進委員

橋内 京子さん

◆定員 15人 ※定員になり次第締め切り

◆参加費 無料



分別収集を究めよう

毎月のごみの分別収集の時、出し方を悩んでいませんか？
福津市のごみの出し方を学んで、あなたも分別収集スペシャリストを目指しましょう。

◆日時 2月20日(水) 10:00~11:30

◆場所 市文化会館(カメリア) 大研修室

◆講師 市うみがめ課職員

◆定員 15人 ※定員になり次第締め切り

◆参加費 無料



申込方法 1月22日(火)から電話にて受付(土・日曜日、祝日を除く)

託児 あり(詳細は問い合わせください)

申込・問い合わせ 市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969



津屋崎・福岡東・福岡中学校

吹奏楽部合同演奏会

市内3中学校吹奏楽部による演奏会を開催します。

心躍る美しいハーモニーをお楽しみください。

◆日時 1月27日(日)

14:00~16:00(13:30開場)

◆演奏順 ①津屋崎中学校

②福岡東中学校

③福岡中学校

④3校合同演奏

◆会場 市中央公民館ホール

※事前申し込み不要



問い合わせ 市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969

のぞいてみました



カレッジの講座風景

迷子になった犬や猫はどうなるの？

(12月8日実施) 講師 NPO法人HUG ME 副理事長 後藤陽子さん

飼い主の都合で手放されてしまった犬や猫の現状を知って、「満点飼い主」になるために、どうしたら良いのかを福岡東中学校の生徒と一緒に考えました。

受講者の声

救える命の大切さ、それに活動されるかたがたに感動しました。我が家の犬が年を取っても大切に世話をしたいと思います。



中学生と一緒に英語を楽しみましょう！

(12月10日実施) 講師 津屋崎中学校 英語科教師 中原先生、ALT モーガン先生

津屋崎中学校の生徒と英語で自己紹介をしたり、ビンゴゲームをしたりして、楽しく日常の英会話を学ぶことができました。

受講者の声

久しぶりの英語で頭の中がリフレッシュできました。中学生と一緒に楽しく勉強でき、有意義な時間でした。



福岡女子大生記者がゆく！

恩返し の形

以前もお伝えした、「ふくつベジボックス@福岡女子大学」プロジェクト。これは、福津市勝浦にある直売所「あんずの里市」の野菜を福岡女子大学の学生が注文し、定期的に直送していただき、大学で販売するというものです。私たちは地域への展開を目指して、11月の学園祭「かすみ祭」で一般向けに販売を行いました。野菜は完売。「大学で野菜販売？」と驚きの声もありましたが、いつも家族のために料理されている主婦の皆さんは新鮮な野菜に関心がある様子でした。



その時の私は、野菜を配送して下さる皆さんに報いなければと、売れ残ることがないように販売数ばかり気にしながら接客をしていました。そんな姿を見て、あんずの里市組合長の柴田さんが一言、「僕たちが君たちにしてきたことは、僕たちに返そうとするのではなく、他の人に返していけばいいんだよ」。この言葉で、購入して下さる学生や地域の皆さんのことを考えることが本来の目的なのだ改めて気付かされました。私たちがこの気持ちを忘れず実践することが、あんずの里市の皆さんの気持ちに応えること(恩返しをすること)にもなるのではないかと思います。

年度内の販売も残りわずかとなりました。支えてくださっている皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、購入して下さるかたのことを精一杯考えたプロジェクトにしていきたいと思っています。(小松原 由葵)

ふるさとメッセージ

郷



育ちゃん

育

かわら版 Vol.96

「郷育」の「郷」は、ふるさとや地域、自分たちの住んでいるところと考えています。そして「育」は、その地域によって育てられ、また地域を育てていく姿をイメージしています。

郷育推進課 ☎52・4969

平成24年度郷育カレッジ全力疾走！

